

文化振興計画推進委員会 これまでの主な議論

■ 事業評価について

- ・ 事業評価方法についての検討 (H25～H29)
「事業評価シート」を作成し、主催事業や施設実施事業についての評価を実施している。
- ・ 事業評価の本格的な実施 (H29～現在)
平成 28 年度事業から事業評価を実施。内容について委員会に報告し、助言を受けることとなる。事業評価シートや指定管理者からの実施報告、ヒアリングなどを通じて、文化振興課にて「現状と課題」を分析している。
- ・ 事業視察の実施 (H30)
平成 30 年度事業を対象に、各委員による事業視察を行い、意見をいただいた。各意見については、平成 30 年度事業評価の参考とするとともに、事業主体（指定管理者等）にフィードバックした。

(今後の課題)

- ・ 事業評価の方法については、今後も改善を続けていく必要がある。

■ 奈良市文化振興補助金について

- ・ 補助金のあり方についての議論 (H28)
公募化も視野に入れた補助金のあり方の改善について議論。
- ・ 奈良市文化振興補助金としての実施 (H30～)
「奈良市文化振興補助金要項」を定め、委員会による補助金申請事業に対する審査を開始。

(今後の課題)

- ・ 公募による補助金制度構築を進めていく必要がある。(後述)

■ 文化振興計画 次期計画について

- ・ 現計画終了後について (H30)
現在の計画は令和 2 年度末で終了となる。戦略的な文化政策の展開のためには、次期計画が必要である。

(次期計画についての意見まとめ)

- ・ 市民文化政策と都市文化政策に分けて考えていく。
- ・ 施設の役割・位置づけを明記する。
- ・ 社会包摂の視点は、引き続き取り入れる。
- ・ 若者や子ども、高齢者、勤労者層など、対象を意識した計画とする。
- ・ 評価にもとづく事業の組み直しがしやすくなるような計画とする。
- ・ 長所だけでなく、奈良の弱点も明記する。